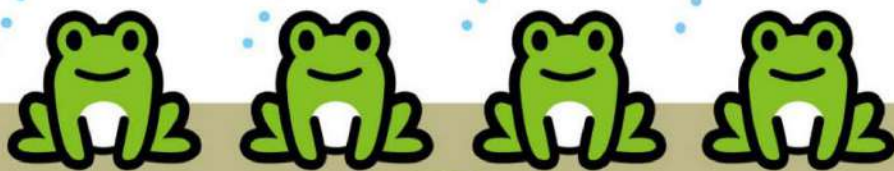


お助け! シュロの糸 側溝 ケロケロベンチアノーム



日本自然保護大賞を受賞
した山口市の中学生の研究
「お助け! シュロの糸」を
ベースに共同開発!

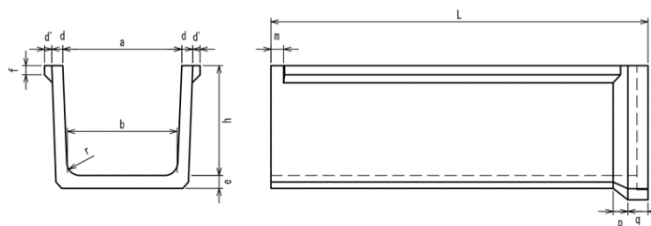


平成28年度
やまぐち地域中小企業
育成事業助成金交付

地元の自然環境保護をサポートする

 **カワノ工業株式会社**

お助け！シュロの糸側溝 ケロケロベンチフリューム 規格表

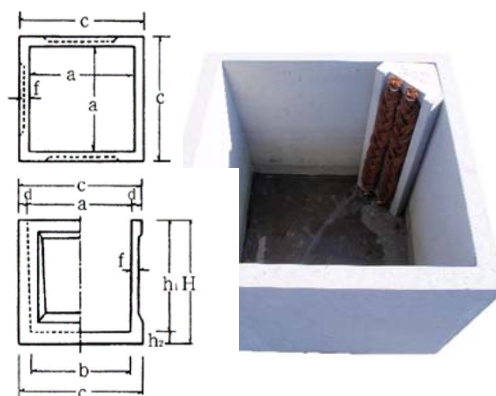


名称	寸法 (mm)							参考質量 (kg)
	a	b	d	d'	e	h	L	
300	320	300	35	25	40	300	1,050	108

- ・製品 1m に 2ヶ所のシュロ脱出路を配置し、「シュロ」は取替えの出来るカートリッジ式です。
- ・シュロは三つ編みにして製品に取り付け、カエルが登り易くし、隠れ場も提供しています。

お助け！シュロの糸側溝 ケロケロ柵 規格表

名称	寸法 (mm)					参考質量 (kg)
	a	b	c	d	H	
1号柵 200~250用	520	480	600	40	510	150
2号柵 300~350用	630	590	730	50	630	230
3号柵 400~450用	750	630	850	50	740	310
4号柵 500~600用	1,000	900	1,100	50	900	600



- ・製品の隅にシュロ脱出路を配置し、「シュロ」は取替えの出来るカートリッジ式です。

シュロ後付用ブロック (現場打水路・柵用)



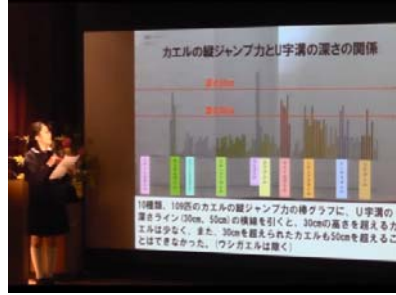
現場打水路を作る際、コンクリートを打ち込む時に埋め込みます。

柵用は既設柵にも後付け可能です。

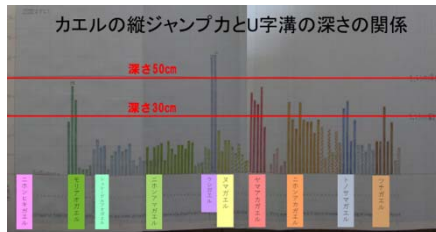
※本製品は、カエルはもとより、様々な小動物や昆虫類を救済するために開発された製品です。

【お助け！シュロの糸】 とは・・・ ～少女の思い！日本自然保護大賞受賞～

山口市の少女（藤原結菜さん）が、小学3年生のとき、田んぼの横のコンクリート側溝の中で、水に流されたり、這い上がれずに干からびたカエルの姿を目にしました。「なんとかカエルを助けたい・・・」その思いから、数百匹のカエルの「ジャンプ力」や「くっつき力」等を実験した結果、試行錯誤の末、シュロの木の繊維を束ねて作る命綱「お助け！シュロの糸」を発明しました。（現在、中学3年生）



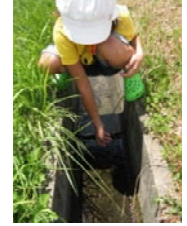
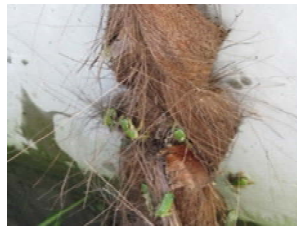
この彼女の取組みは、2014年【日本自然保護大賞（子ども・学生部門）】を受賞いたしました



10種類、109匹のカエルの縦ジャンプ力の棒グラフに、U字溝の深さライン(30cm、50cm)の横線を引くと、30cmの高さを超えるカエルは少なく、また、30cmを超えられたカエルも50cmを超えることはできなかった。(ウシガエルは除く)

U字溝の水の速さとカエルの関係
調査日:平成24年7月30日

名前	場所	U字溝の水の速さ		
		1のU字溝 水深7cm 流速12cm/秒	2のU字溝 水深5cm 流速67cm/秒	3のU字溝 水深3cm 流速40cm/秒
ヌマガエル1	あがれない	あがれない	あがれない	あがれない
ヌマガエル2	あがれない	あがれない	あがれない	あがれない
ヌマガエル3	あがれない	あがれない	あがれない	あがれない
ヌマガエル4	あがれない	あがれない	あがれない	あがれない
ヌマガエル5	あがれない	あがれない	あがれない	あがれない
ニホンアマガエル1	あがる	あがる	あがる	あがる
ニホンアマガエル2	あがる	あがる	あがる	あがる
ニホンアマガエル3	あがる	あがる	あがる	あがる



【施工業者の方へ】 ～求められる環境への配慮

現在、公共工事において、環境への負荷を低減するとともに、豊かな自然環境の保全、創造および人にやさしい環境づくりに努める為に新たな保全工法の提案等を積極的に行う事で、生態系や周辺環境・景観との調和に配慮した工事を行う事が、求められております。

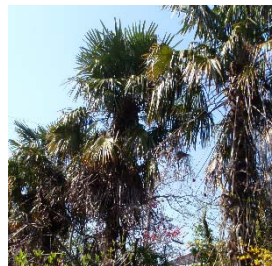
そのような工事において、現場における創意工夫の中で、是非、本製品を御使用ください。

※使用にあたっては、発注元や地域住民と御協議の上、有効に活用してください。



シュロとは・・・ ～シュロとシュロ縄～

ヤシ科の常緑高木。シュロの樹皮は、「シュロ縄」として、天然繊維としては最も劣化（腐食）しにくいといわれ、古くから多目的に利用されています。
※シュロ縄は分解しにくく、水に浸かってもほとんど腐りません。



この製品の売上の一部は 『公益財団法人 日本自然保護協会』 に 寄付 いたします

日本自然保護協会とは

日本自然保護協会は尾瀬の自然を守る活動からはじまり、小笠原や屋久島など、日本を代表する自然環境を守り続けてきました。生きものが元気にくらせる田んぼが人を元気にするように、人と自然がともに生き、赤ちゃんからお年寄りまでが笑顔で暮らせる社会を目指して活動しています。現在も、美しい日本の自然を未来の子どもたちに引き継ぐために、皆様からのご支援で活動を続けています。あたたかいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



日本自然保護協会の注力活動！

絶滅危惧種と その生息地の保全



撮影:折内耕一郎



写真提供:NPO法人表兵衛ネットワーク

自然とのふれあいの 機会と守り手の拡大



自然を活かした 地域づくり



ご入会、ご寄付、お問い合わせは

公益財団法人 日本自然保護協会
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2階
Tel: 03-3553-4101 Fax: 03-3553-0139
E-mail: shizen@nacsj.or.jp
HP: http://www.nacsj.or.jp



日本自然保護協会

検索

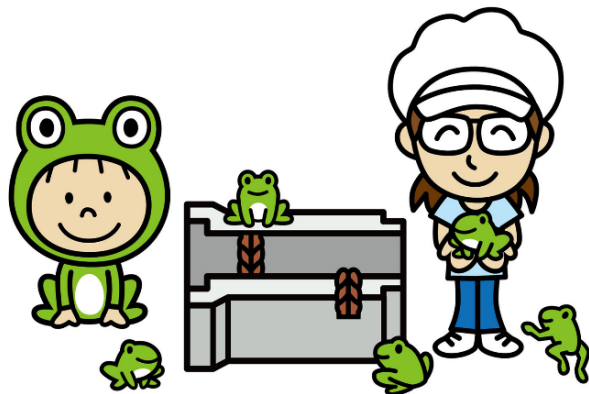
※詳しくは「日本自然保護協会」ホームページをご覧ください！

生態系を守る・・・ ～生態系保護の大切さ～

生態系のピラミッドは、自然に絶妙なバランスで成り立っています。その生態系ピラミッドがどれか一つでも崩れてしまうと、他のバランスも崩れてしまい、自然は減ってしまいます。

カエルがいなくなると・・・

カエルは食物連鎖において不可欠な存在であり、ハエ、シラミバエ、蚊やその他の病原菌媒介生物を食べ、そのことによって私たちをマラリア、デング熱、その他の病気から守ってくれます。またオタマジャクシは藻を食べて水路をきれいに保ってくれます。カエルがいなくなると、食物連鎖は乱されてカエルを食料源とする動物たちも同様に消えてしまいます。また、両生類は人間の薬としても非常に重要であり、生理学・薬学におけるノーベル賞は、両生類を用いた研究を行った研究者たちにも贈られています。



ケロケロベンチアキュム



カワノ工業株式会社

山口県柳井市柳井1740-1
TEL 0820-22-1111 FAX 0820-22-5552

営業所: 柳井・岩国・徳山・山口・美祢・下関・広島・益田
工場: 柳井工場・田布施工場・美祢工場